

インドネシア E&P 事業の強化に向けた資産の見直しについて

石油資源開発株式会社（JAPEX、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山下 通郎、以下「当社」）は、インドネシア・グバン鉱区の権益（以下「グバン」）を 100%保有する Energi Mega Persada Tbk.（EMP）の子会社 EMP Gebang 社（EMPG）の株式の 50%を取得することといたしました。

また同時に、Energi Mega Pratama Inc.（EMPI）への出資を通じて当社が参画するインドネシア・カンゲアンプロジェクト（以下「カンゲアン」）について、当社が保有する EMPI 株式すべてを、EMPI の親会社である EMP へ譲渡することといたしました。

当社は E&P 事業を強化するため、インドネシアにおいて、天然ガス開発・生産案件の取得による中長期的な利益創出を目指しております。

今般、その一環として、EMP が権益を保有するグバンへの参画を決定いたしました。スマトラ島北部に位置する同鉱区には、複数の既発見未開発ガス田が存在し、更なる探鉱ポテンシャルも期待されます。今後は同鉱区において、既発見未開発の ^{スチャングアン}Secanggang ガス田の開発を主導し、早期生産を実現するとともに、新規ガス田の発見も目指してまいります。

一方、EMPI を通じて EMP と共同事業として進めてきたインドネシア・ジャワ島東部海域のカンゲアンについては、当社が計画した探鉱・開発作業を全て完了したことを踏まえ、EMP に当社が保有するすべての EMPI 株式を譲渡することといたしました。

グバンおよびカンゲアンの概要については、別紙を参照ください。

本取得および本譲渡が当社連結業績に与える影響は、軽微です。なお、EMPI 株式すべてを譲渡することにより、EMPI は当社持分法適用会社から外れるとともに、EMPG 株式の取得により、EMPG は当社持分法適用会社となる予定です。

当社は、時代に合わせたエネルギーを安定供給する「総合エネルギー企業」として、トランジションエネルギーとして需要が増える見込まれる天然ガスへの開発投資を継続してまいります。

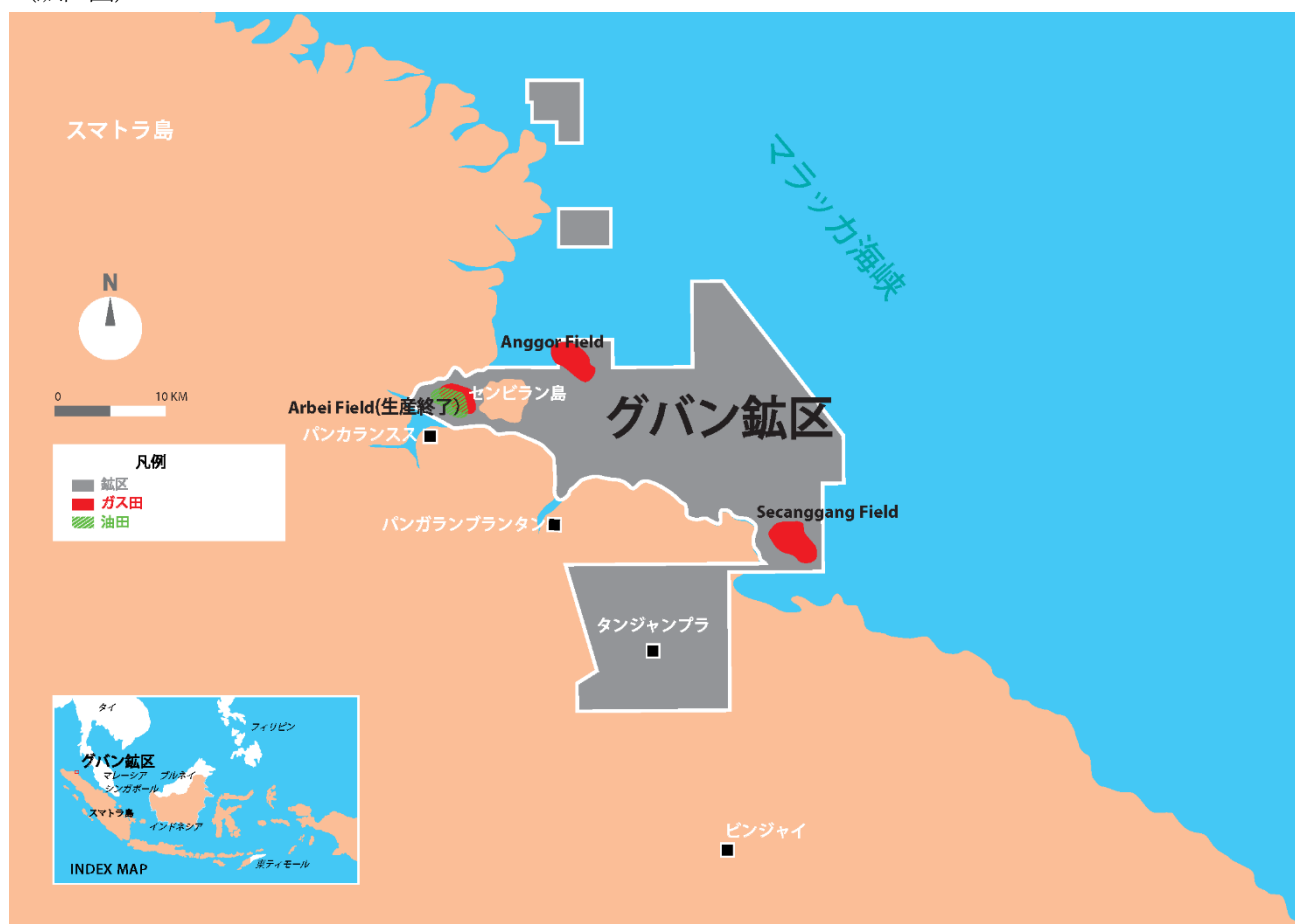
以上

<別紙>インドネシア・グバン鉱区およびインドネシア・カンゲアン鉱区概要

別紙 インドネシア・グバン鉱区概要

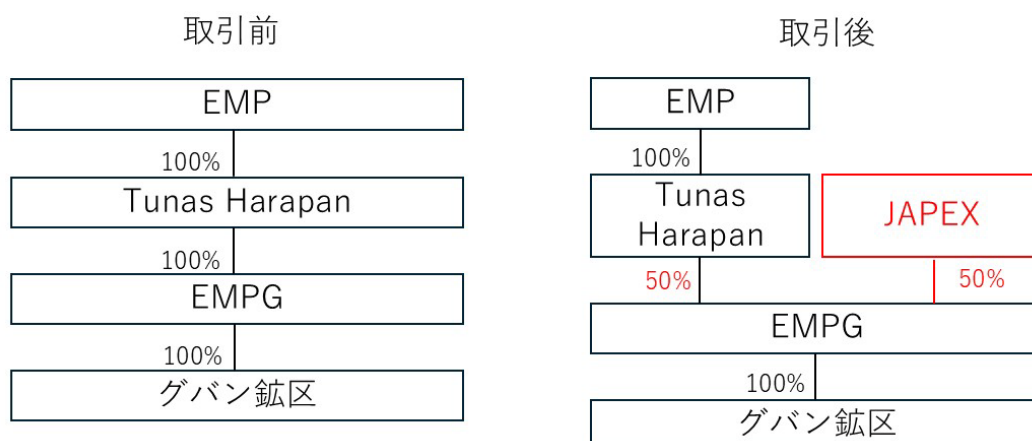
鉱区名称	グバン（Gebang）鉱区	
鉱区所在地	インドネシア・北スマトラ州マラッカ海峡沿岸	
プロジェクト会社、オペレーター	EMP Gebang Ltd.（EMPG：参画により当社出資比率 50%）	
権益比率	EMP Gebang Ltd.（EMPG）	100%

（鉱区図）



※EMP 提供の地図を一部加工
※白枠灰色で塗っている部分がグバン鉱区

（権益スキーム）

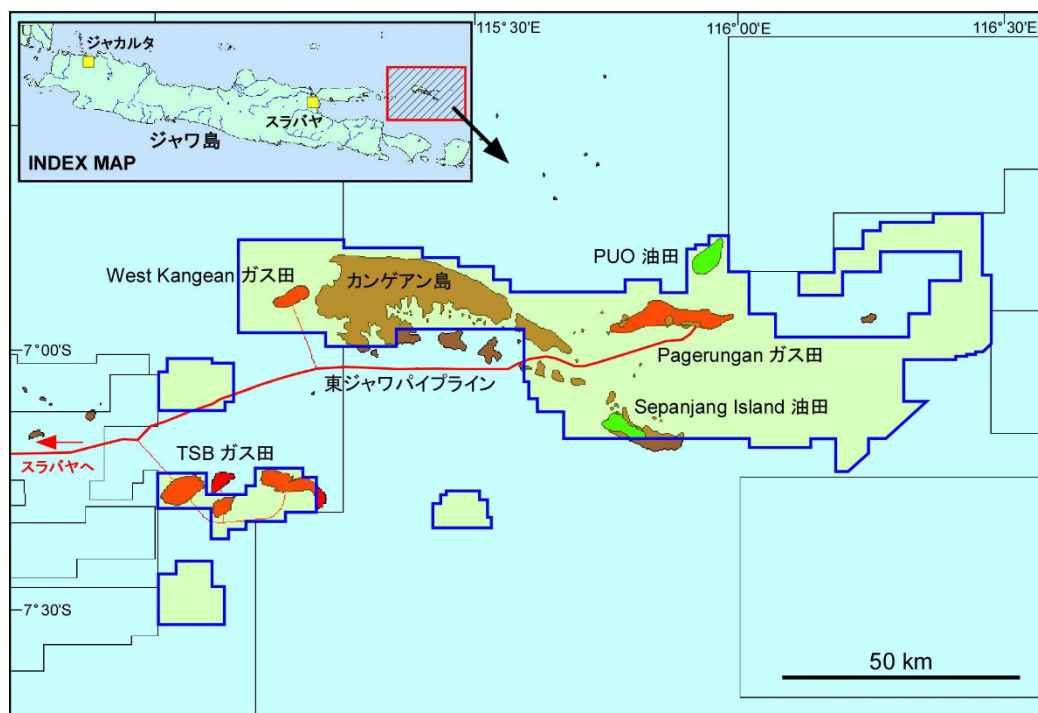


別紙 **インドネシア・カンゲアン鉱区概要**

鉱区名称	カンゲアン (Kangean) 鉱区		
鉱区所在地	インドネシア・ジャワ島東部海域		
オペレーター	Kangean Energy Indonesia Ltd. (KEI)		
プロジェクト会社	Energi Mega Pratama Inc. (EMPI：当社出資比率 25%)		
権益比率	Kangean Energy Indonesia Ltd. (KEI)	60%	
	EMP Exploration (Kangean) Ltd. (EMPE)	40%	

※KEI と EMPE はいずれも EMPI の 100%子会社 (当社 Net 比率 25%)

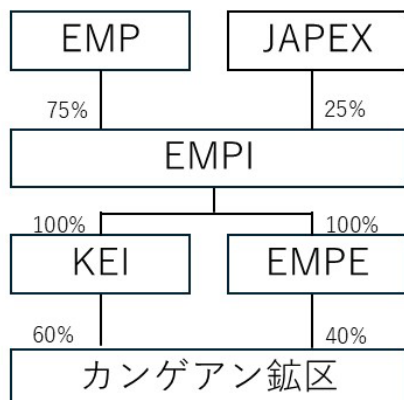
(鉱区図)



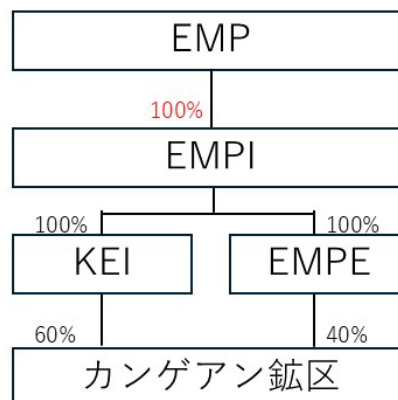
※青枠で囲んだ部分がカンゲアン鉱区

(権益スキーム)

取引前



取引後



###